

会議録

会議の名称	男女平等参画推進委員会 令和4年度 第6回
開催日時	令和5年2月28日（火曜日） 午後6時15分から8時00分まで
開催場所	田無庁舎5階 502会議室
出席者	出席：小澤委員長、笹川副委員長、五十嵐委員、井上委員、篠宮委員、鈴木委員、平委員、星委員、堀内委員、安田委員、山田委員、横森委員 欠席：高岡委員、中村委員、山辺委員 事務局：徳丸係長、藤野主査、苅込主任
議題	(1) 令和4年第5回男女共同参画推進委員会会議録の承認について (2) 男女平等参画に関する市民意識調査結果速報版について (3) 第5次男女平等参画推進計画について
会議資料の名称	【配布資料】 (1) 令和4年度第5回男女平等参画推進委員会会議録（案） (2) 【資料1】男女平等参画に関する西東京市民意識調・実態調査《結果速報》 (3) 【資料2】男女平等に関する市民ワークショップ等実施概要 (4) 【資料3】西東京市第5次男女平等参画推進計画等工程表 (5) 【資料4】男女平等参画推進委員会開催日程（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

【開会】

○事務局：これより第6回男女平等参画推進委員会を開催する。

事務局より委員の半数以上が出席しており委員会が成立している旨の報告をした。

続いて事務局より配布資料を確認した。

(1) 令和4年第5回男女共同参画推進委員会会議録の承認について

○委員長：議題の「(1) 令和4年第5回男女共同参画推進委員会会議録の承認について」、お手元にある会議録(案)を少しお読みいただいて、ご意見を伺いたい。

(黙読)

○委員長：時間になったので、ご意見のある方は発言をお願いしたい。

(意見なし)

異議なく承認された。

(2) 男女平等参画に関する市民意識調査結果速報版について

○委員長：事務局から説明をお願いしたい。

事務局から市民意識調査報告書の概要と今後のスケジュール等の説明を行った。

SRCから【資料1】男女平等参画に関する西東京市民意識調査・実態調査《結果速報》を用いて市民意識・実態調査の結果速報について説明を行った

(グループに分かれて結果速報について議論した。)

○委員：WEB回答と郵送回収のダブルチェックはどのように行ったのか。

○SRC：入力データを突合させて回答の重複確認を行っている。今回は2件あった。

○委員長：時間になったので、Aグループから順に報告をお願いしたい。

○委員：10ページのDVを受けた時の相談経験で、「誰にも相談しなかった」の数値がとても高いことが気になった。前回から少し減少しているとはいえ、飛び抜けて多いのは問題。また、全体的に前回から回答にあまり変化がない中でも、男性が家事育児に参加する、育児休業を必要が生じれば取得するという意識の向上がうかがえた。「パリテ」を全く知らないという人が相変わらず8割程いることを残念に思う。

○委員：男女平等において解消されているという意見があまり増えず横ばいという結果だが、もしかしら今までは男女平等と思っていたものの、女性の方が賃金が低い、管理職になっている人が少ない等平等になっていない現状に気付き、「平等」に丸が付けられなかったのかもしれない。気付きがあったうえでの結果であれば一歩前進という評価ができる。DVを受けた際の相談窓口として「西東京市の窓口」という身近な窓口にとりあえず相談することがもっと増えると良い。男性の育休取得について、前回調査時に無回答がとても多く、今回は少なくなっている。前は育休を取ることで自分が遠い存在で無回答としていたものが、今回は当事者意識を

持って取らなくてはならない場合はどうするかを考えられるようになった結果無回答が減ったという推測もでき、そうならばこれも前進と考えられる。

○委員：2頁の(1)男女の地位の平等感、(2)固定的性別役割分担意識についての考え、(4)仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現状況は性別の比較や経年比較をしてほしい。(3)家事・育児・介護に携わっている時間(平日・休日)は、男性と女性で感じ方に違いがあることも考えられるため、次回から女性にも聞いた方が良いと感じた。(5)育児休業の取得経験、取得意向で無回答が減って、「必要がない」「わからない」が増えていることが気になるため、ここを市としてしっかり捉えてほしい。(6)配偶者等からの暴力を受けた時の相談経験は、「誰にも相談しなかった」が減っているものの、50%以上の方が相談できなかったというのは大問題だと感じる。前回調査から4年経ってもほとんど減っていないため、しっかりと取り組む必要がある。この対策として「女性相談」の認知度を上げることが直結すると思うが、これも未だ7割の人が「まったく知らない」というのは問題に感じる。市としてこの認知度を上げていくことがDVや女性の不安を解消することにつながっていくと思う。

○委員長：報告書で内容は網羅されるのか。

○SRC：報告書には全設問の結果を掲載する予定である。なお、別途性別や年代別のクロス集計は全設問で実施する予定となっている。また、(3)家事・育児・介護に携わっている時間(平日・休日)は対象者全員が回答する設問となっているため、報告書では女性の結果も掲載する。

○委員長：続けて市民ワークショップについて、事務局から説明をお願いしたい。

SRCから【資料2】男女平等に関する市民ワークショップ等実施概要を用いて市民ワークショップ等の実施概要について説明を行った
事務局から補足説明を行った。

○委員長：事業者インタビューでは平委員に協力をいただいたようだが、ご意見があればお願いしたい。

○委員：内容は事務局の説明の通りだが、弊社では女性が人事部長に最近就任し女性活躍を中心にとっても柔軟な考え方をしており、転職で来られたこともあり以前の会社で得た知識を導入してくれることで新しい風が吹いていると感じる。長く勤めていると自社の在り方がスタンダードになってしまうため、新しい風を入れることが必要ではないか。できればその役割を西東京市が担い、様々な会社を回って相談に乗ったり、今までに得た知識で企業同士の架け橋になったりするとより良い働き方ができる西東京市の企業も出てくると思うので、このような活動は引き続きやっていただきたい。

○委員長：中学生インタビューでは井上委員に協力をいただいたようだが、ご意見があればお願いしたい。

○委員：今回はひばりが丘中学校生徒会の4人が出席し、和気あいあいとした雰囲気の中で司会の方が意見を引き出していただき良かったと思う。事務局の説明の通り、家庭における役割分

担があまりないと感じたが、中学生なので保護者も子育てが一段落しており、家事も電化製品の活用等で負担も大きくなくできる人が家事をするということが多かった。また、学校教育の中で制服の男女の区別もなく、委員会や生徒会長への就任等でも男の子だから女の子だからといったことを感じる場面が無い場合、役割分担を感じる時が無いのではと思った。ワーク・ライフ・バランスについて、男の子は呑気に構えているが女の子は資格を取りたいと言っていた。将来、妊娠出産後に仕事をしたいとなった場合に女性の方が不利であると感じており、それをカバーしてくれるのが資格と考えているのではないか。

- 委員長：今までの説明に対し、何かご意見はあるか。
- 委員：市民ワークショップの参加者の性別の割合を教えてください。参加人数の15人は妥当か。事業者インタビューで選出された2社はどのような基準で選ばれたのか。中学生インタビュー参加者の学年・性別を教えてください。
- SRC：性の多様性に配慮して参加者アンケート等から性別欄を削除したため正確なものはないが、概ね半数程度だったかと思われる。
- 事務局：事業者は商工会に推薦いただいた。中学生インタビューの参加者については事務局からは特に指定をせず学校に任せたが、基本的には男子生徒2名、女子生徒2名とし、学年は1～3年生まで幅広く参加した。選出については概ね生徒会が多く、部活の代表者を集めている学校もあったが、選出方法を特に学校に聞いていない。
- 委員：校長会から選出する4校について、男性校長と女性校長の学校を半数ずつとし、地域が偏らないようにと依頼あった。

(3) 第5次男女平等参画推進計画について

- 委員長：事務局から説明をお願いしたい。
SRCから【資料3】西東京市第5次男女平等参画推進計画等工程表と、【資料4】男女平等参画推進委員会開催日程（案）を用いて説明を行った。
- 委員長：次回会議では何を議論するのか。
- SRC：事務局で作成した骨子構成案と体系案を提示し、それについて議論していただく予定となっている。
- 委員：西東京市の総合計画は、SDGsの視点を入れて策定を進めていると以前の委員会で伺った。「ジェンダー平等」は目標5のみではなく、全てのゴールに関っている。これから策定する第5次男女平等参画推進計画が市の総合計画の中でどのような位置付けになるのか明確にしてほしい。
- 事務局：市の総合計画は夏前にある程度固まるため、そこで調整しながら検討を進めたい。男女平等参画推進計画は他の計画と横断的なので網羅できるよう調整したい。
- 委員：毎年施策評価をしているが、各課それぞれの計画に沿った事業と男女平等参画推進計画の整合性が考慮され、ジェンダー平等の視点（ジェンダーの主流化）をもとに全庁的に計画を

進めていくということが最初から明確になっていると良いと思った。

- 委員：市民ワークショップで学校教育の見直しというご意見があった。色々なことが先ず学校教育の中で行われ、そこで子どもたちに正しい認識をさせることが大切だと私自身も感じている。子どもが学校、友達等から知った事実、習ってきたことを子どもから学ぶことも多く、既成概念を取り払うことが大事であると感じる。教育内容の見直しは男女平等参画推進計画を実現するのに非常に有効であると思うので、是非このような意見を入れた総合計画にしていきたい。
- 事務局：子どもを中心にするという市の施策があるが、国が定めた教育要領もあるため市独自でどこまでできるかはわからないが働きかけていきたい。
- 委員：市民意識調査の結果でDVを受けて「誰にも相談しなかった」人が非常に多いが、「相談できなかった」ではなく相談する必要が無いと感じた人もかなりいると思う。調査項目を見て受けた行為がDVであるとわかってもらってもそれほど重大に考えず相談するほどではないと流してしまうことも多いのではないか。男女関係なくパートナーに対してしてはいけないこと、DVである行為について教育を通して認知させることが大事であるため、それに関連した政策があれば良いと思った。

(3) その他

- 委員長：次回は3月28日となっている。今後も今まで通り第4週の火曜日に開催する方向で調整して良いか。
(意見なし)
他にご意見はあるか。
- 委員：ある議員による女性議員に対するモラハラの告発がSNSで拡散され、今問題になっている。協働コミュニティ課として事実確認等を進めてほしい。また、今回の件についての市としての考えを教えてほしい。今後何か情報があれば提供してほしい。
- 事務局：議会でハラスメントに関する決議があったことは把握している。市職員にはハラスメント研修を実施している。庁内で進捗があれば報告させていただく。
- 委員：政治分野における男女共同参画の推進に関する法律の改正で、ハラスメント対策は地方公共団体にとっても責務に近くなっている。委員会としても研修を実施していただきたい。西東京市の男女平等参画を進めるにあたりハラスメントの根絶のためにも、委員会の思いを伝えることはできるのか。
- 事務局：計画を作ることが市としての意見表明になるため、計画に盛り込むことが重要と考えている。
- 委員長：それでは、令和4年度第6回男女平等推進委員会、これにて閉会とさせていただきます。お疲れ様でした。また次回もよろしくお願いいたします。

【閉会】

